

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小中一貫教育推進事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	01	04	02	63
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	濱崎 祐子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校教職員及び児童生徒	意図	小中学校の連携による児童生徒の発達段階や他の校種の教育を学び合い教育効果を高める。
事業内容	流山の小中一貫した教育として、小中学校の連携した取り組みを計画的に進めていく。児童生徒間の交流、そして教師間の交流や情報交換を積極的に進める。			
事業開始から現在までの状況変化	中学校区ごとに部活動体験会や交流会、合同の挨拶運動、中学生の学習サポート、校内研修会の相互参観などを通し、児童生徒の交流及び体験学習、教職員の研修が計画的に実施されている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	小中乗り入れ(出前)授業		8	10	校
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	小中学校の交流により、急激な環境の変化を原因とする中1ギャップの解消につながっている。教職員の小中連携意識を高めることができた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 小中一貫教育推進研修会を開催し、各中学校区での組織作り、年間計画づくりをし、それに基づいた実践が進められた。情報交換を進め、取り組みの成果や課題を共有し合いながら学び合い、さらなる実践につなげようとしている。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,835,034	1,825,735	1,832,726			
事業費(b)(円)		1,835,034	1,825,735	1,832,726			
うち一般財源		1,835,034	1,825,735	1,832,726			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	各学校の年間行事計画等の把握し、中学校区ごとに小中学校が無理なく連携をし、活動が進められるよう調整を図る。	③取り組みの課題	小中学校の連携をさらに進めるために、各中学校区での連絡調整する時間を確保することが課題である。
②今年度(H26)に実施した取り組み	中学校区ごとに年間行事計画を交換し合いスムーズな連携を図った。中学校区ごとの取り組みを紹介し、活動の見直し、発展に取り組んだ。	④今後の改善計画	小中一貫教育関連研修会において中学校区ごとに行事等を連絡調整できる時間を確保し、平成27年4月に開校する新設校に、小中連携の効果的な取り組みを生かす。